

決算特別委員会総括質疑で区長が答弁

# 給食の無償化継続が実現

～区内の都立特別支援学校へも支援～

この度の第3回定例会決算特別委員会の総括質疑で、区長より給食の無償化の継続方針が示されました。

区長は「本来は国が責任を持って取り組む課題」としたうえで、これまでの経済対策に加え「義務教育無償化を進める観点からも給食の無償化を継続する判断をした。また区からは、「都立特別支援学校に通う児童生徒に対する無償化相応の支援を行うことについて検討する。東京都にも応分の支援を検討するよう求めていく」との発言がありました。

私、たかじょう訓子は、給食の無償化に関連して3点質問しました。

アレルギーや宗教上の理由などによる  
弁当持参の児童・生徒への支援策を！

区～来年度に間に合うよう

取りまとめると答弁

令和5年5月現在で、区内に完全弁当持参の児童・生徒が49名、弁当持参で牛乳のみ給食の児童・生徒が22名います。保護者からは、「子どもに配慮し給食のメニューと出来るだけ変わらないお弁当を作っている。そのためにかかる時間も費用負担も大きい」と伺ってきました。給食の完全無償化にむけ支援を行うよう求めました。

区は「今後、課題を整理し、来年度の給食費の完全無償化に間に合うよう、弁当持参者への支援策を取りまとめる」と答弁。来年度より実現します！しかし、来年まで待たずに補正での実現をと求めています。

給食予算の増額を！

区～増額を検討していく

区は、高騰する食材費への対応として、昨年6月分の学校給食から給食費単価の10%相当分を補助し、今年度については上乗せ分を含めて給食費の無償化を実施してきました。

しかし、学校栄養士からは、補助を上回る食材費の高騰があり、給食の品数を減らしたり、魚の切り身を小さくしなければならないなどの状況が生じていると伺いました。子ども達の健やかな成長のために、給食予算の増額を求めたところ「各学校での食材費にかかる支出状況や食材調達やメニュー作成への影響などを確認し、検討して」いくと答弁があり、補正予算による対応を求めています。



高城

くにこ

2023年11月号

こんにちは たかじょう訓子です！

日本共産党世田谷区議会議員 問合せ先：日本共産党区議団

〒154-0017 世田谷区世田谷4-21-27 tel:03-5432-2791 fax:03-3412-7480 携帯:090-6655-2003

## 不登校特例校でも給食の開始を！ 区～来年度中の開始に向け、予算の 確保も含め調整を進めている

不登校特例校とは、在籍の学校には通えないけれど、学校で勉強をしたい中学生が通う学校です。正規の教職員や養護教諭、スクールカウンセラー等が生徒の支援を行なっています。不登校特例校「ねいろ」と呼ばれており、昨年4月に開設しました。

元の教育センターの建物に開設したため、給食設備がないことなどから、開校以来、給食ではなく弁当持参でした。給食の開始を繰り返し求めてきましたが、今回、「来年度中の太子堂調理場からの給食配送開始に向けて、予算の確保も含め調整を進めている」との答弁があり、来年度中に実現する見込みです！

### 都・区政報告会

- ①日 時：11月5日(日)  
14:00～15:30  
会場：砧総合支所区民集会所  
2・3会議室
- ②日 時：11月11日(土)  
10:00～11:30  
会場：烏山区民センター  
第4会議室
- 報告：里吉都議  
たかじょう訓子区議

## 給食は教育の一環です。 国の責任で給食の無償化実現を！

この11月以降、東京都23区全てでの給食の無償化が実現しましたが、多くが国が実施するまでの時限的な措置として1年限りの実施です。都内でも、主食以外を提供する「補食給食」や牛乳のみの「ミルク給食」、注文した人だけが給食で他は弁当の「デリバリー給食」の自治体もあります。ご飯やパンなどの主食、おかず、牛乳が揃った「完全給食」が実現していない上に無償化が進まない自治体での課題は財源の確保です。10月24日に対政府交渉に参加した時には、「国の責任で無償化を」と切実な声が次々に上がりました。世田谷区でも毎年、約27億円となります。

国の動きは、学校給食費の無償化の実現に向けて実態調査を行い、1年以内に結果を公表するとするなど前向きに動き出しました。

学校給食法第1条では、『食育の推進』がその役割と目的として規定されており、給食は教育の一環です。憲法26条（義務教育無償）の実現に向け、教科書と同じように給食を無償にするのは政治の責任です。住んでいる自治体の財政力の違いなどで子ども達の教育を受ける権利が保障されないということのないよう、国による給食の無償化の早期実施を求めていきましょう！

